

広島平和ツアーに参加して

半田市立青山中学校 3年 森田吏

原爆ドーム・資料館を見学して

まず初めに、僕は広島と長崎に原爆が落ちたということは知っていました。ものすごく悲惨だったということも知っていました。ですが資料館を見学してみると、僕はただ知ってるつもりだったんだなという事を実感しました。

資料館に入って最初に目に映ったのが、原爆の被災者が実際に体験したことを描いた絵とその当時の状況を言葉にしたものでした。見ていくうちに、どれだけの人が原爆によって辛い思いをしたのか感じるとともに、とても苦しくなりました。



次に目にとまったのは、原爆の恐ろしさを表現するために実物が展示してある場所で、普通は曲がらない鉄が原爆の衝撃によってありえない方向に曲がっていた事です。目にした瞬間、原爆の威力を再確認させられました。展示物の中には当時使っていたものや写真、様々なものが展示してあり、どれを見ても、原爆の怖さを感じていました。



広島平和ツアーで学んだこと

僕にとってこのツアーは、原爆の恐ろしさはもちろん、『平和とは何か』についてもう一度考えるきっかけとなるツアーでした。参加する前は、平和とはみんなが楽しく過ごすことだと僕は考えていましたが、資料館を見学したり、語り部さんのお話を聞いたりしていくうちに、そんな浅いことではないのだなと気づきました。今僕たちが送っている生活が当たり前ではなく、特別なのだと考えるようになりました。僕たちの住む日本は平和で、この平和な生活を送れていない人がこの世界には沢山います。今でも世界のどこかでは戦争をしています。自分たちの力で戦争をすぐに無くすことは難しいけど、当たり前のことを当たり前だと思わず、日々感謝をして生活していき、戦争は絶対しない強い気持ちをもってこれから生きていこうと思います。